


緊急提言第2弾！！

省エネも LOA で可能です！

2011年3月11日に発生した東日本大震災の後の2012年の原油高騰の折に「緊急提言」として、同様のメッセージを発信しています。

その時と現在（2022年8月）の長野県内の燃料価格を比較しますと、

	2012年3月	2022年8月	上昇率
灯油	100円	120円	20%
軽油	132円	153円	16%
ガソリン(レギュラー)	159円	173円	9%

 2011年からの値上がり幅も驚異的なものでした。

おおよそこのようになっています。ハイオクガソリンや重油も比例して値上がりしました。しかも、政府の補助金を充てたうえでこのような状況ですので、下がる見通しはありません。

環境エネルギー商品（LOA）の開発の目的は、年々悪化する環境の影響を受け、劣化又は弱体化していく生命体、とりわけ人間をはじめとする動物、植物を励起・賦活し、健康な状態を取り戻し、維持していく環境を創ることに主眼を置いています。（2006年開発）

しかしながら、現代社会の抱えている多くの課題を目の当たりにして、もう一つの視点から改めて提案したいと思います。それは今私たちの生活を直撃している冒頭の（熱）エネルギーの供給不安からきている化石燃料（ガソリン、軽油、灯油、ガス等）や電気料金高騰への自衛の策です。延いては、国難ともいえるエネルギー問題解消の一助ともなります。

元々、LOAは環境商品として環境汚染の元凶となっている排気ガスの浄化等に取り組んできました。環境が少しでも良くなれば、間違いなく生命体にはプラスとなります。環境が浄化されると同時に燃費が良くなり、あらゆる物の効率が高まることも多くの現場で実証してきました。効率が良くなり、環境への負荷が減ることは、生物にとっても心地よくなる方向で、人間社会においては経済的にも喜ばしいことです。そのうえで、電磁波汚染や化学物質汚染等の影響も軽減（フリー）となれば申し分ありません。

燃料や電力の効率の良し悪しは私たちの日常生活にとって大きなファクターで関心事です。実感し難いと思いますが、LOAを装着した瞬間から毎秒、毎分、毎時、毎日、毎月、毎年、毎年と生きている間、刻々と継続して確実に資源とお金を節約していくこととなります。経済的にも要らぬ出費を止めることは、その倍々でプラスへ永々と効いてきます。

ロシアとウクライナの戦争が発端ですが、不都合な環境を嘆いていても仕方ありません。自らの意識、判断、行動力で自らを護っていくしか他に方法はないと思います。

別紙に、LOA商品を使うことでどの程度エネルギー効率が高まるか整理してみましたのでご覧ください。[【電気使用料、ボイラー\(灯油、重油\)、自動車\(ガソリン\)の消費改善事例】](#)